

活動名：第28回喜多方市蔵のまちフットサルフェスティバル5年生大会

日 程：令和8年1月17日（土）・18日（日）

会 場：喜多方市押切川公園体育館

参 加：5年生選抜 8名

帯 同：設楽・貝和コーチ

結 果：予選リーグ

VS FCブリーオ須賀川 4:2 ○

VS 安積第三 SSS 5:1 ○

VS FC.Wille (ヴィレ) 6:3 ○ リーグ1位通過

決勝トーナメント

VS FC ヴェルジナーレ 3:0 ○

VS BOAVISTA.Jr 6:0 ●

VS FCブリーオ須賀川 3:0 ○

第3位／16チーム中

報 告：設楽

アーレが発足したころからご招待を受けて出場させていただいている喜多方のフットサル大会ですが、年末の4年生大会に続き、5年生大会に挑みました。

アーレの5年生は現在18名いますが、フットサル競技は5名なので全員連れていくことができず、今大会はリフティング上位者7名を集めました。

参加確認をしたところ最終的に2名不参加で5名となり、競技人数がぴったりになってしまったことから、再度3名のリフティング上位者を急遽集い、8名となって今大会に挑みました。

＜予選リーグ＞

この大会は手を抜ける相手は全くいない強豪ぞろいのチームが集るため、今大会に出場するメンバー構成を考えながら、子供たちの集合時間前に他チームのスカウティングして今大会の戦い方の参考にしました。

＜スカウティングとは＞

① チーム全体の特徴

攻撃的か守備的か

ボールをつなぐタイプか、ロングボールが多いか

② 個々の選手の特徴

エースストライカーは誰か

足が速い選手、テクニックが高い選手

守備が弱い選手、ミスしやすい選手

③ 戰術・癖

サイド攻撃が多い

セットプレーが強い／弱い

先制点を取られると崩れやすい、など

フットサル競技は特にコーチの采配が大きく左右される競技だと感じています。メンバーのポジション配置、交代のタイミングなどは特に試合結果を左右します。喜多方の大会は選抜といったこともあり、毎年アーレとしては平等に出場して経験する場ではなく、チームとしての勝敗に拘り挑むことにしています。

日頃から一緒にプレーしているメンバーですが、試合のために練習していないため、ぶつけ本番の戦い方なので、試合前のコーチングはとても入念にしました。

毎試合、緊張している子供たちの様子を見ながら、いつものプレーを出し切ることができるように声掛けをし、試合での攻め方、守り方、役割分担など伝えながら試合前の準備をしました。

やはり、選抜されたレベルの選手たちなので、理解度も早く、試合では忠実にプレーしてくれたと思います。

初戦の須賀川ブリーオさんは特に強豪なので初戦で敗戦すると今大会は流れに乗れないと思い、日ごろに調子の良いメンバーで戦い、苦しい内容でしたが見事に勝利をすることことができました。これで流れに乗ったので三試合が終わるとリーグ1位通過といった上出来で明日の決勝トーナメントに進出することができました。

メンバーみんながオン・オフザピッチにおいて試合に向き合う姿勢が見られたことが良かったです。試合での集中力と気迫、コーチに言われたことを体現できる適応力に関心する初日となりました。

試合後は子供たちの頑張りを称え、明日に向けてしっかり休養して翌日に来るよう伝えました。

<二日目：決勝トーナメント>

朝に集まった時の子供たちの様子は、やる気に満ちた様子で、予選リーグでも無理せず全員が出場して戦えたため、疲れも残っている様子ではなかったので、今日はもしかすると上位進出が期待できると感じました。

三回勝てば「優勝」の上位8チームのステージに進出でき、初戦は県北地区の強豪ヴェルジナーレさんとでした。

体格の大きな子たちに果敢に体を入れて奪い、相手に何もさせることもなく勝利することができました。

しかし・・・準決勝は強豪のBOAVISTA.Jr（鏡石町）さんでした。

4年生大会でも惜敗している相手で、五年生には今回カタキを取ってもらおうと挑みましたが、相手はフットサルのチームでもあり、戦術やスピードがあるプレーで、ついていくことができず前半に0：4と大差をつけられてしまい、結果0：6の完敗で決勝へ進むことができませんでした。さすがに相手は半端なく強かった～泣

子供たちは試合後も涙あまり出ず、圧倒された試合であったため放心状態で肩を落としていました。

しかし、まだまだ結果を求めるといけない三位決定戦が待っており、切り替えるように声掛けをし、子供たちも気持ちを次の試合に向けてくれました。

三位決定戦の相手はFCブリーオ須賀川さんで前日の初戦で勝利していますが、や

はり相手も勝ちたい気持ちでくると思い構えましたが手を抜くことなくしっかりプレーでき、久しぶりの3位入賞の成績を獲得することができました。

決勝戦では北部FC（山形県）さんとBOAVISTA.Jr さんでしたが、両者は高いレベルで試合内容も素晴らしく、この2チームの次の位置に入賞できたことは、結果的に上出来だと感じます。

アーレの子供たちはまだまだこのレベルで戦うことはできないと思いました。

北部やボアさんの子供たちは、自信と気迫に満ち溢れており、しっかりと個々のレベルをあげる練習を自主的にやっていると思われます。

その差が一番大きいのは「キック力」と「パスやシートの精度」と感じました。

これはアーレの練習だけでは身に付かない技術です。やはり日々の自主練から習得できるもので、昔は学校が終わると公園に集まり、ミニゲームをやったりゴールへシートする遊びなどで自然と習得ができました。

そんな環境が可能な子供たちは習得でき、できない子はなかなか時間がかかり、週末の全体の練習のみだと差は大きく開いてしまう時代です。仕方がないことですが、少しでも自主練に励んでくれると差は縮まると思います。

アーレも来年度の喜多方6年生大会では決勝トーナメント進出できるように全体練習と個々のレベルアップを図かる自主トレに励んでほしいと思います。

二日間、遠い会場で熱い応援を頂きましたご父兄の皆様、ありがとうございました。今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願ひ致します。また、主催の喜多方サッカー協会さま、大変お世話になりました。

2月に開催される6年生大会は4、5年生の悔しさの分までアーレ旋風を巻き起こす頑張りを見せてほしいと思います。

コーチ：設楽



